

目次

序論	1
第 1 章 国際文化学とマイノリティーの移民	10
1-1 国際文化学の定義とマクロな視点から取り残される人々	10
1-2 ミクロな視点からみる日系移民のサバルタン史	12
1-3 ミクロな視点からみる日系移民のアイデンティティー	13
第 2 章 ナショナル・ヒストリーと多文化主義に登場する日系移民史の問題	16
2-1 ネーション・ステートとナショナル・ヒストリーの考察	17
2-1-1 ヘーゲルの歴史叙述とネーション・ステートの問題	17
2-1-2 フクヤマの歴史叙述とネーション・ステートの問題	23
2-1-3 ネーション・理性・歴史の問題	29
2-2 ナショナル・ヒストリーと多文化主義によるマイノリティーの統合	33
2-2-1 リベラルな多文化主義にみる統合の問題	34
2-2-2 タカキの歴史叙述とネーション・ステートの問題	37
2-2-3 多文化主義において語られない日系移民	44
第 3 章 日系移民のサバルタン史：ツールレイク・キャンプ	51
3-1 多文化主義における「日系アメリカ人」の生産と失敗	52
3-1-1 善良な「日系アメリカ人」	52
3-1-2 ジョン・オカダ <i>No-No Boy</i> が意味するもの	55
3-1-3 テレサ・ファンケ <i>The No-No Boys</i> が意味するもの	60
3-2 日系移民のサバルタン史	67
3-2-1 サバルタンとは何か	69
3-2-2 グラムシの権力概念と歴史	72
3-3 現在までの日系移民の歩み	76
3-3-1 日系移民の歩み	77
3-3-2 日系移民の排除：アッセンブリー・センターを中心に	81
3-3-3 アッセンブリー・センターと強制収容所への送還	85

3-4	言葉による統合と排除	88
3-4-1	言葉の歪曲法	91
3-4-2	日系二世と「日系アメリカ人」	94
3-5	ツールレイク・キャンプとは何か	96
3-5-1	ツールレイク・キャンプの開設	96
3-5-2	収容所内の構造・機能・管理	104
第4章	オーラル・ヒストリーの可能性と方法	110
4-1	オーラル・ヒストリーによる方法論	111
4-1-1	オーラル・ヒストリーとは何か	112
4-1-2	ナラティブ・インタビューの方法論的研究	115
4-2-1	調査研究の種類	116
4-2-2	調査研究の目的・意図・目標	118
4-2-3	調査研究の方法	119
4-2-4	質的調査の利点と限界	122
4-3	トランスクリプションと分析方法	124
第5章	オーラル・ヒストリーの分析：	
	インタビューーAによるナラティブと分析	128
5-1	インタビューーAについて	128
5-2	インタビューーAのナラティブにみるツールレイク・キャンプの分析	128
5-3	インタビューーAのナラティブにみるアイデンティティの分析	131
第6章	オーラル・ヒストリーの分析：	
	インタビューーBによるナラティブと分析	137
6-1	インタビューーBについて	137
6-2	インタビューーBのナラティブにみるツールレイク・キャンプの分析	138
6-3	インタビューーBのナラティブにみるアイデンティティの分析	139
第7章	オーラル・ヒストリーの分析：	

インタビューCによるナラティブと分析.....	144
7-1 インタビューCについて.....	144
7-2 インタビューCのナラティブにみるツールレイク・キャンプの分析.....	144
7-3 インタビューCのナラティブにみるアイデンティティの分析.....	149
第8章 ツールレイクのナラティブからみる多文化主義の問題.....	153
8-1 多文化主義が語らないアイデンティティの葛藤.....	153
8-2 多文化主義による日系移民の表象.....	156
8-2-1 多文化主義に表象される日系移民の問題.....	157
8-2-2 多文化主義による「承認される文化」の問題.....	162
8-2-3 多文化教育による日系移民の承認.....	164
8-3 ツールレイク・キャンプからみた日系移民の文化的差異.....	168
結論.....	174
参考文献.....	177
付録資料.....	191